

児童・思春期の摂食障害のための  
家族療法(FBT)1日ワークショップ① および  
個人療法(AFT)2日間ワークショップ②

TELL では 2015 年に FBT\*開発者の一人であるジェームス・ロック医学博士を講師に迎え、日本初となる FBT の 2 日間研修を開催し、大変なご好評をいただきました。2017 年の TELL 摂食障害ワークショップでは、ロック先生が共同設立された摂食障害治療研究機関で実践されているもう一つの有効な治療アプローチ、Adolescent-Focused Therapy (AFT\*) の 2 日間研修をお届けいたします。また、FBT の理論の概要を示した上でより実践的な内容に重点を置いた FBT1 日研修もあわせて企画いたしました。FBT を初めて学ぶ方はもちろん、前回の研修を受講された方もぜひご参加ください。

(\*FBT、AFT の詳しい説明については裏面をご覧ください)

<① FBT 1 日ワークショップ>

日時: 2017 年 7 月 15 日(土) 9:30-17:30

研修内容: FBT の概要を理解し、それを実践するための治療環境の設定や家族へのアプローチの仕方などを学びます。両親のチームワークを引き出すための働きかけや、FBT の特徴的な要素であるミール・セッション(治療者同席のもとに行われる家族全員での食事)を効果的に行うための工夫なども取り上げます。

<② AFT 2 日間ワークショップ>

日時: 2017 年 7 月 16 日(日)&17 日(月・祝) 9:30-17:30

研修内容: AFT の理論的背景、具体的な治療プロセス、そして治療の導入の仕方などについて学びます。その上で、治療者が患者のコーピング・スキルを高め、健全な自我の発達を促すために用いることができる治療技法の習得を目指します。

—— ワorkshop①②ともに——

講師: リンジー・アトキンス博士 & マリア・ガンツィ博士 (詳しいプロフィールは裏面をご参照ください)

※逐次通訳あり

対象者: 摂食障害治療に関心のある医療従事者(医師、臨床心理士など)

定員: 各回 35 名(先着順) ※申込期日までに参加希望者が 15 名に満たない場合は開催中止となることをご了承ください。

申込締切日: 2017 年 4 月 14 日(金) ※定員に達した場合はこれより前に申込みを締め切らせていただきます。

参加料金: 研修①のみ 22,000 円 / 研修②のみ 44,000 円 / 研修①②同時お申込み 61,000 円

会場(予定): 〒107-0062 東京都港区南青山 6-10-11 ウェスレーセンター2 階セミナールーム、または近隣の施設

◆ 申込方法: <https://jp.surveymonkey.com/r/telled2017> よりインターネットでのお申込み

<お問合せ> [eatingdisorders@telljp.com](mailto:eatingdisorders@telljp.com) / 担当: 荻原かおり(TELL 摂食障害プログラムコーディネーター)

※メールのお問い合わせに対して 3 営業日以内に返信がない場合には、お手数ですが平日 10:00-17:00 の間に TELL カウンセリング(03-4550-1147)までお電話ください。

### Family-Based Therapy (FBT) とは:

Family-Based Therapy (FBT)は、ジェームス・ロック医学博士(Dr. James Lock)とダニエル・ルグランジュ博士(Dr. Daniel LeGrange)によって2000年始めにアメリカで共同開発された摂食障害のための家族療法であり、現在、思春期の神経性やせ症に対して最も有効性が確立された治療アプローチとして知られている。FBTでは、家族全員が患者の回復のための重要な役割を持ち、特に両親は治療初期における患者の体重および身体的健康の回復の責任を担い、治療者の力を借りながら家庭における再栄養(refeeding)に取り組む。およそ20回の家族セッションから成るFBTの治療アプローチは3つの段階に分けられており、第一段階では両親による患者の再栄養と体重回復、第二段階は更なる回復過程における患者の主体性の獲得、第三段階では思春期特有の発達課題への取り組みに焦点が当てられる。

### Adolescent-Focused Therapy (AFT) とは:

Adolescent-Focused Therapy (AFT)はアメリカの摂食障害治療の専門家であるAnn Moyer博士によって1980年代初めに開発され、これまで3つの効果研究(Moyerら、1994 & 1999; Lock, LeGrange & Moyer, 2010)でFBTと同等の治療効果が認められている、思春期・青年期の摂食障害患者に対する有効な個人療法モデルである。FBTは患者の家族が治療の要であるのに対して、AFTは親との面談を併用しつつ患者と治療者の関係性を重視する。摂食障害を“患者が自らの内的課題に対して用いている不適切な対処方法(コーピング)”と捉え、精神力動的アプローチと認知行動療法的アプローチを組み合わせる技法によって、患者の健全な自我の発達およびコーピング・スキルの習得を促し、アイデンティティや対人関係、発達課題の問題の解決を目指す。患者は自身の感情とつながり適切に向き合うようになることで、摂食障害という形の内的葛藤の表現を手放すことができる。

---

#### <講師プロフィール>

##### **リンジー・アトキンス博士 / Dr. Linsey Atkins**

オーストラリアの上級臨床心理士として国内のさまざまな医療研究機関で長年にわたり摂食障害の治療、研究、治療プログラムの設立や運営にたずさわりながら、イギリスのモーズレイ病院やアメリカの思春期専門治療施設などにも研究留学。現在は豪メルボルンで個人開業し思春期や成人の摂食障害患者に対する個人および家族療法を行っている。Training Institute for Child & Adolescent Eating Disordersの研究者として、国内外でFBTおよびAFTの研修やスーパーヴィジョンを行っている。

##### **マリア・ガンツイ博士 / Dr. Maria Ganci**

オーストラリア・メルボルンのロイヤル小児病院の精神保健ソーシャルワーカーとして摂食障害専門プログラムの設立に関わり、以後同病院にてFBTの治療、研究、そして治療者の育成にたずさわっている。Training Institute for Child & Adolescent Eating Disordersの研究者としてFBTおよびAFTのトレーニングやスーパーヴィジョン、治療導入のためのコンサルテーションを行っている。FBTに取り組む両親のための実践マニュアル“Survive FBT”(LMD Publishing)著者。